

(4) 舞台芸術コース

教科科目	科目の特長	科目の目標
声優実習Ⅰ (ナレーション)	アクティブラーニング(実習)で、発声の基本から簡単な歌唱、ナレーションの台詞術を学ぶ。	声を生み出すのは自分の身体。ストレッチ体操をしっかりと行い、伸びやかで、豊かな声量をめざす。ニュース、ラジオCM、映像ナレーションの技術を身につける。
照明研究	舞台照明の基本的な技術の習得と表現方法を学ぶことを通じて、上演芸術に対する理解を深め表現力を高める。	舞台照明の基礎を理解し、調光操作卓の基本操作を身につけ、上演芸術における照明の役割を学び、自己表現に活かすことを目指す。
ヒップ・ホップ・ダンスⅠ	身体の使い方によって様々な表現ができることを伝え、楽しむことの延長に学びがあることを知る。	ダンスの基礎となるリズム感を養い、身体を使ってリズムを表現できるようになる。
ジャズダンスⅠ	毎回のレッスンでストレッチ、筋トレ、アイソレーション、リズムトレーニングを行い、身体をつくる。また、踊りに安定感を出すため、ブリエやタンジュなどのバレエの基礎を使い軸づくりもしていく。毎回のレッスンの後半では振り付けも行い、踊る楽しさ、流れの中で踊る気持良さも実感できるようにする。	カラダづくり、軸づくりに重点を置き、外側で踊るのではなく、内側から踊るという意識をはぐくみ、強さとしなやかさの両方をしっかりと表現できる魅力的なダンサーになることをめざす。
音響研究	音響の基本、必要性、意義を実習を行いながら学ぶ。授業を通じ、自分でイベントの音響機器を操作できるようになるように学ぶ。	音の基礎を学び、自然の音と電気を使って増幅された音との違いを理解し、音響の役割が様々なシーンにおいての必要性を認識できるようにする。
ボーカル研究	呼吸法、発声学に触れ、体の使い方や読譜を学びながら、様々なジャンルの課題曲を中心に歌唱法を学ぶ。	正確な発声、音程、リズム、表現法を学び、歌を通して各々の表現ができることをめざす。
ポピュラー音楽Ⅰ	書籍や映像、音源を用いてポピュラー音楽の歴史を学び、演奏するために必要な基本的な音楽理論を学び、課題曲を決めアンサンブルを行う。主にギターを使用する。	ポピュラー音楽の歴史や基本的な音楽理論に対する理解を深め、楽器の演奏を通して自分なりの表現ができるようにする。
演技実習Ⅰ	発声・滑舌・間・リズム感・身体表現などを演劇ワークショップや演技を通じて学び、心・技・体の鍛錬を一つ一つ積み重ねていく。	自らの肉体を通じて表現する(演じる)ために必要な感性・テクニックを習得する。そして、演技の基本を通して、コミュニケーション能力を育成する。
アニメ・イラスト基礎Ⅰ	人物の基本的な構造を学習し、基礎的な描き方を理解する。また、定期的なクロッキーを行い、人物のポーズ表現を身につける。	アニメ、コミックイラストにおける人物(キャラクター)を作画するための基本的描写力を身につける。